

資料No.「業務1-8」  
防災業務アプリケーションユニット標準仕様  
防災情報共有  
【データ一覧】

V1.3

平成29年4月



一般財団法人全国地域情報化推進協会

## 目 次

本書の位置づけ .....	1
データ一覧 .....	2

## 本資料の位置づけ

---

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【データ一覧】」は、各業務ユニットが所管するデータの中で、他の業務ユニットより参照されるデータを集約して、まとめたものである。各業務ユニットは、ここで定義するデータを、提供側の業務ユニットとして、利用側の業務ユニットに対して提供できることが必要である。

### <<準拠ルール>>

： 各業務ユニットは、本データ一覧にて定義されたデータ項目を、利用側の業務ユニットに対して提供できること。(必須) [1.8]

データ一覧						業務ユニット名：防災情報共有							
連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大				
01	1	災害情報						1	1			災害時に命名する災害名	
	2	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
	3	災害名	○	N	40			1	1				災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	4	都道府県	○	N	12			1	1				災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称
	5	市町村_災対本部名	○	N	12			1	1				災害名を登録した市町村もしくは災対本部の名称
	6	災害区分	○	X	2	○	災害区分	1	1				登録した災害の区分
	7	発生日時	○	日付時間情報					1	1			登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	8	終結日時	○	日付時間情報					0	1			登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	9	登録日時		日付時間情報					0	1			災害名を登録した日時
	10	更新日時		日付時間情報					0	1			災害名を更新した日時(未定義災害→正式な災害名)
	11	発生場所		N	100				0	1	○		災害が発生している地域(場所)。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	12	災害概要		N	4000				0	1			発生している災害の概要情報
	13	備考		N	4000				0	1			備考欄として災害情報に関連するその他情報を記入する
02	14	災害概況即報						1	1			消防庁第4号様式(その1)	
	15	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
	16	災害名	○	N	40			1	1				災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	17	報告番号	○	9	3			1	1				報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	18	報告日時	○	日付時間情報					1	1			報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	19	都道府県	○	N	12			1	1				報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	20	市町村_消防本部名	○	N	12			1	1				報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	21	報告者名		職員名情報					0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	22	発生場所		N	100				0	1	○		発生した場所に関する情報。消防庁第4号様式参照。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合も多々あるため、ここでは項目セット辞書を活用しない

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大			
	23	発生日時			日付時間情報				0	1			発生した日時に関する情報。消防庁第4号様式参照。
	24	災害の概況			N	4000			0	1			災害の概況に関する情報。消防庁第4号様式参照。
	25	死傷者							0	1			死傷者の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	26	死者			9	7			0	1			死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-01)」に相当。
	27	不明			9	7			0	1			行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位：人】(情報項目識別子：03-04-02)」に相当。
	28	負傷者			9	7			0	1			負傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	29	計			9	8			0	1			死傷者の合計数。消防庁第4号様式参照
	30	住家							0	1			住家被害数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	31	全壊_棟			9	7			0	1			住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-01)」に相当。
	32	一部破損_棟			9	7			0	1			住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-03)」に相当。
	33	半壊_棟			9	7			0	1			住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-02)」に相当。
	34	床上浸水_棟			9	7			0	1			住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-04)」に相当。
	35	被害の状況			N	4000			0	1			当該災害により生じた被害の状況について、判明している事項を具体的に記入。その際特に人的被害及び住家の被害に重点を置くこと
	36	災害対策本部等設置状況_都道府県							0	N			都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	37	設置状況			N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	38	設置状況日時			日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	39	災害対策本部等設置状況_市町村							0	N			市町村における災害対策本部を設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。
	40	災害対策本部等設置市町村			N	12			1	1			災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
	41	設置状況			N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	42	設置状況日時			日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	43	応急対策の状況			N	4000			0	1			応急対策の状況に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
03	44	被害状況即報							1	1			消防庁第4号様式(その2)
	45	災害識別情報			O	X	20		1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	46	都道府県			O	N	12		1	1			報告を行った都道府県名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	47	災害名			O	N	40		1	1			災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	48	報告番号			O	9	3		1	1			報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
	49	報告日時	○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする。
	50	報告者名		職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	51	人的被害						0	1			人的被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	52	死者		9	7			0	1			死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
	53	行方不明者		9	7			0	1			行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位:人】(情報項目識別子:03-04-02)」に相当。
	54	重傷		9	7			0	1			重傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	55	軽傷		9	7			0	1			軽傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	56	住家被害						0	1			住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	57	全壊_棟		9	7			0	1			住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-01)」に相当。
	58	全壊_世帯		9	7			0	1			住家の全壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	59	全壊_人		9	7			0	1			住家が全壊した住民の人数。家屋が倒壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	60	半壊_棟		9	7			0	1			住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-02)」に相当。
	61	半壊_世帯		9	7			0	1			住家の半壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	62	半壊_人		9	7			0	1			住家が半壊した住民の人数。家屋が半壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	63	一部破損_棟		9	7			0	1			住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-03)」に相当。
	64	一部破損_世帯		9	7			0	1			住家の一部破損世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	65	一部破損_人		9	7			0	1			住家の一部破損した人数。住家が一部破損するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	66	床上浸水_棟		9	7			0	1			住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-04)」に相当。
	67	床上浸水_世帯		9	7			0	1			住家が床上浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	68	床上浸水_人		9	7			0	1			住家が床上浸水した人数。住家が浸水するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	69	床下浸水_棟		9	7			0	1			住家が床下浸水した棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「床下浸水【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-05)」に相当。
	70	床下浸水_世帯		9	7			0	1			住家が床下浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	71	床下浸水_人		9	7			0	1			住家が床下浸水した人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	72	非住家被害						0	1			非住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	73	公共建物_棟		9	7			0	1			被害を受けた公共建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	74	非住家被害_その他_棟		9	7			0	1			被害を受けたその他の建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	75	その他被害						0	1			その他被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有							
NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO				CD	コード名	最小	最大			
	76		田流失埋没	9	7			0	1		田流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	77		田冠水	9	7			0	1		田冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	78		畑流失埋没	9	7			0	1		畑流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	79		畑冠水	9	7			0	1		畑冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	80		文教施設	9	7			0	1		被害を受けた文教施設箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害文教施設箇所数」に相当。
	81		病院	9	7			0	1		被害を受けた病院の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害病院箇所数」に相当。
	82		道路	9	7			0	1		被害を受けた道路の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害道路箇所数」に相当。
	83		橋りょう	9	7			0	1		被害を受けた橋梁の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害橋梁箇所数」に相当。
	84		河川	9	7			0	1		被害を受けた河川の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害河川箇所数」に相当。
	85		港湾	9	7			0	1		被害を受けた港湾の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害港湾箇所数」に相当。
	86		砂防	9	7			0	1		被害を受けた砂防の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害砂防箇所数」に相当。
	87		清掃施設	9	7			0	1		被害を受けた清掃施設の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害清掃施設箇所数」に相当。
	88		崖くずれ	9	7			0	1		崖崩れが発生している箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「崖崩れ箇所数」に相当。
	89		鉄道不通	9	7			0	1		鉄道が不通となっている箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「鉄道不通箇所数」に相当。
	90		被害船舶	9	7			0	1		被害を受けた船舶隻数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害船舶隻数」に相当。
	91		水道	9	7			0	1		断水している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「断水戸数」に相当。
	92		電話	9	7			0	1		電話が不通状態となっている電話回線数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「不通電話回線数」に相当。
	93		電気	9	7			0	1		停電が発生している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「停電戸数」に相当。
	94		ガス	9	7			0	1		ガス供給が停止している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「ガス供給停止戸数」に相当。
	95		ブロック塀等	9	7			0	1		被害ブロック塀等箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害ブロック塀等箇所数」に相当。
	96		り災世帯数	9	7			0	1		罹災対象世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	97		り災者数	9	7			0	1		罹災対象者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	98		火災発生					0	1		火災発生件数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	99		建物	9	7			0	1		建物火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	100		危険物	9	7			0	1		危険物の火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	101		火災発生_その他	9	7			0	1		その他火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。
	102		公立文教施設	S9	13			0	1		公立文教施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	103		農林水産業施設	S9	13			0	1		農林水産業施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	104		公共土木施設	S9	13			0	1		公共土木施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大			
	105	その他の公共施設				S9	13			0	1		その他公共施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	106	小計				S9	15			0	1		上記被害額の小計(千円)。消防庁第4号様式参照。
	107	公共施設被害市町村数				9	4			0	1		公共施設被害市町村の数(団体数)。消防庁第4号様式参照。
	108	被害額その他								0	1		農業、林業、畜産、水産、商工、その他被害に関する被害規模を登録する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	109	農業被害				S9	13			0	1		農業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	110	林業被害				S9	13			0	1		林業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	111	畜産被害				S9	13			0	1		畜産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	112	水産被害				S9	13			0	1		水産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	113	商工被害				S9	13			0	1		商工被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	114	被害額その他_その他				S9	13			0	1		その他の被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	115	被害総額				S9	15			0	1		公共文教施設に関する被害額～その他被害額までの総計(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	116	災害対策本部等設置状況_都道府県								0	N		都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	117	設置状況				N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	118	設置状況日時				日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	119	災害対策本部等設置状況_市町村								0	N		災害対策本部を設置している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。
	120	災害対策本部等設置市町村				N	12			1	1		災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
	121	設置状況				N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	122	設置状況日時				日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	123	災害救助法適用市町村								0	N		災害救助法を適用している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	124	市町村_消防本部名				N	12			0	1		災害救助法を適用した市町村名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害救助法適用市町村名」に相当。
	125	適用日時				日付時間情報				0	1		災害救助法を適用した日時。消防庁第4号様式参照。
	126	災害救助法適用市町村数				9	4			0	1		災害救助法を適用した市町村数。消防庁第4号様式参照。
	127	消防職員出勤延人数				9	5			0	1		消防職員の出勤延人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	128	消防団員出勤延人数				9	5			0	1		消防団員の出勤延人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	129	備考								0	1		以下の事項を登録する
	130	災害発生場所				N	100			0	1	○	被害を生じた市町村名又は地域名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大			
	131		災害発生年月日		X	100			0	1			被害を生じた日時又は期間。消防庁第4号様式参照。データ型については、日付時間情報なので本来項目セット辞書を活用するところですが、期間情報を登録する場合もあるため、両方の情報を入力できるようにするため自由記述ができるstring型としている
	132		災害の種類概況		N	4000			0	1			台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の種別、災害の経過、今後の見通し等。消防庁第4号様式参照
	133		消防 水防 救急 救助等消防機関の活動状況		N	4000			0	1			消防機関の活動の概況情報。消防庁第4号様式参照。
	134		避難の勧告 指示の状況		N	4000			0	1			避難勧告指示の発令状況。消防庁第4号様式参照。
	135		避難所の設置状況		N	4000			0	1			避難所の開設・設置状況。消防庁第4号様式参照。
	136		他の地方公共団体への応援要請 応援活動の状況		N	4000			0	1			他団体からの応援状況。消防庁第4号様式参照。
	137		自衛隊の派遣要請 出動状況		N	4000			0	1			自衛隊の派遣要請及び出動状況
	138		災害ボランティアの活動状況		N	4000			0	1			災害ボランティアの活動状況
04	139		被害状況_付加情報							1	1		
	140	災害識別情報		○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	141	災害名		○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	142	報告番号		○	9	3			1	1			報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	143	報告日時		○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	144	都道府県		○	N	12			1	1			報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	145	市町村_消防本部名		○	N	12			1	1			報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	146	被害識別情報		○	X	20			1	1			被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する
	147	報告者名			職員名情報				0	1			報告を実施した職員の名前
	148	発生場所			N	100			0	1	○		被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	149	発生日時			日付時間情報				1	1			被害が発生した日時
	150	更新日時			日付時間情報				1	1			被害情報の更新日時
	151	重傷者数							0	1			重傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数と判断する。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「重傷者【単位：人】(情報項目識別子:03-04-03)」に相当。
	152	総数			9	8			0	1			重傷者の総数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	153	鉄道			9	7			0	1			重傷者のうち、鉄道に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大			
	154	軽傷者数	道路		9	7			0	1			重傷者のうち、道路に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
	155								0	1			軽傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数と判断する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「軽傷者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-04)」に相当。
	156		総数		9	8			0	1			軽傷者数
	157		鉄道		9	7			0	1			軽傷者のうち、鉄道における軽傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
	158		備考		N	4000			0	1			備考欄として被害状況付加情報に関連するその他情報を記入する
05	159	被害状況_詳細情報							1	1			被害情報の1事案に関する詳細情報
	160	災害識別情報		○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	161	災害名		○	N	40			1	1			災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	162	報告日時		○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	163	都道府県		○	N	12			1	1			報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	164	市町村_消防本部名		○	N	12			1	1			報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	165	被害識別情報		○	X	20			1	1			被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する
	166	報告者名			職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	167	確実度		○	X	1	○	確実度	1	1			被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当
	168	対応		○	X	1	○	対応状況	1	1			発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)
	169	被害種別		○	X	1	○	被害種別	1	1			被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)
	170	被害名			N	50			0	1	○		被害対象名称(人名、建物名等)
	171	発生日時			日付時間情報				0	1			被害が発生した日時
	172	発生場所			N	100			0	1	○		被害の発生場所。減災情報共有スキーマでは「被害場所住所」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	173	報告者名			職員名情報				0	1			被害報告を行った職員名。減災情報共有スキーマでは「発信者氏名組織」に相当
	174	人的被害							0	N			人的被害に関する被害の詳細情報
	175	被害区分			X	1	○	人的被害区分	0	1			人的被害に関する被害区分(死者、行方不明…等)。減災情報共有スキーマでは「人的被害種別」に相当
	176	被害者氏名			氏名情報				0	1	○		被害者氏名に関する情報
	177	被害者性別			X	1	○	性別	0	1			被害者の性別情報
	178	被害者生年月日			生年月日情報				0	1			被害者の生年月日

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有							
NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO				CD	コード名	最小	最大			
	179		住所情報				0	1	○		被害者の住所
	180		X	30			0	1			被害者の連絡先(電話番号)
	181		N	100			0	1			被害者の収容先に関する情報
	182		住所情報				0	1	○		被害者の収容先の住所
	183		X	30			0	1			被害者の収容先の連絡先(電話番号)
	184	住家被害					0	N			住家被害に関する情報
	185		X	1	○	住家被害区分	0	1			住家被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
	186		9	7			0	1			住家被害により被害を受けた世帯数
	187		N	4000			0	1			発生した被害に関する情報
	188	非住家被害					0	N			非住家被害に関する情報
	189		X	2	○	被害対象	0	1			被害対象物(公共建物、その他)に関する情報
	190		X	1	○	非住家被害区分	0	1			非住家被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
	191		N	4000			0	1			発生した被害に関する情報
	192	その他被害					0	N			その他被害(田、畑、文教施設……等)に関する情報
	193		X	2	○	被害対象	0	1			その他被害に関する被害対象物(田、畑、文教施設……等)に関する情報
	194		X	2	○	その他被害区分	0	1			その他被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
	195		N	4000			0	1			発生した被害に関する情報
	196	備考		N	4000		0	1			備考欄として被害状況_詳細情報に関連するその他情報を記入する
06	197	避難勧告_指示情報					1	1			住民へ甚大な被害が及ぶと想定される場合に、市町村が住民に対して避難所や避難場所へ避難するよう勧告または指示を行う情報
	198	災害識別情報	○	X	20		1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	199	災害名	○	N	40		1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	200	都道府県	○	N	12		1	1			避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキームでは「発令機関」に相当
	201	市町村_災対本部名	○	N	12		1	1			避難勧告・指示を発令した市町村もしくは災対本部名の名称。減災情報共有スキームでは「発令機関」に相当
	202	避難勧告_指示識別情報	○	X	20		1	1			避難勧告指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+E+管理番号(5桁～)で管理する
	203	発令システム識別子		X	100		0	1			発令したシステムの識別子。一意性を保証するためにインターネットのドメイン名で修飾された名票を使用。CAPでは「Sender」に相当

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有										
NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明			
連番	NO				CD	コード名	最小	最大						
	204		送信日時								避難勧告・指示情報をシステムで送信した日時。CAPでは「sent」に相当			
	205		発令日時		○						避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCM2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする			
	206		解除日時		○						避難勧告・指示を解除した日時。TVCM2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする			
	207		メッセージ状態			X	1	○		メッセージの状態	0	1		避難勧告・指示情報(メッセージ)に関する情報。この情報が実際の避難情報なのか、避難演習での情報なのか・・・等。CAPでは「Status」に相当
	208		メッセージ種別			X	1	○		メッセージの種類	0	1		メッセージの種類。CAPでは「msgType」に相当
	209		配信範囲			X	1	○		配信の範囲	0	1		メッセージ配信先
	210		言語			N	20				0	1		配信情報の記述言語
	211		災害区分			X	2	○		災害区分	0	1		CAPでは「category」要素で示される災害種別のカテゴリを示す
	212		避難原因			N	4000				0	1		災害区別のカテゴリと、この避難の原因となる内容を示す。CAPでは「category/event」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令要因」に相当
	213		勧告種別		○	X	1	○		避難勧告指示種別	1	1		避難勧告・指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency.severity.certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示   避難勧告   避難準備情報   自主避難   解除)に相当。TVCM2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「勧告・指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
	214		発令権限者							職員名情報	0	1		避難勧告・指示情報を発令した権者名。メールアドレス等でなく日本語での表示名。CAPでは「senderName」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令者」に相当。
	215		ヘッドライン			N	100				1	1		ニュースヘッドラインのように短い文字列で避難情報を流す。CAPでは「headline」に相当。
	216		避難情報文			N	4000				1	1		避難情報の詳細を示した文章。CAPでは「description」に相当。減災情報共有スキーマでは「指示・連絡内容」に相当。TVCM2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「対象地区(自由記述)(情報項目識別子:03-04-05-01)」に相当。
	217		添付ファイル説明文			N	100				0	1		添付ファイルの説明文(例:避難所の場所)。CAPでは「resourceDesc」に相当。
	218		対象地域			N	100				1	1	○	避難勧告・指示の発令対象地域に関する説明文。CAPでは「areaDesc」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報(03-04)の「対象領域」、「対象領域名」に相当。TVCM2.0では避難勧告・避難指示情報の「対象地区(情報項目識別子:03-04-05)」に相当。
	219		緊急対処事態								0	1		「地方公共団体における国民保護図上訓練の手引き」で記載されている緊急対処事態に関する情報
	220		都道府県緊急対処事態対策本部を設置すべき都道府県			N	100				0	1		緊急対処事態対策本部を設置している都道府県名
	221		市町村緊急対処事態対策本部を設置すべき市町村			N	100				0	1		緊急対処事態対策本部を設置している市町村名
	222		警報内容			N	4000				0	1		緊急対処事態対策本部から発令される警報に関する情報
	223		警報の通知伝達の対象となる地域の範囲			N	4000				0	1		警報の通知・伝達の対象となる地域の範囲に関する情報。全国もしくは特定地域(都道府県)名
	224		サイレンを使用する地域			N	4000				0	1	○	警報の通知・伝達の際にサイレンを使用する地域に関する情報。全国もしくは攻撃が迫り、又は現に攻撃が発生したと認められる地域名。あるいはサイレンは使用しない・・・等

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明	
連番	NO					CD	コード名	最小	最大				
	225	避難措置の指示内容		N	4000			0	1			緊急対処事態発生に伴い指示した避難措置の内容	
	226		要避難地域		N	4000			0	1	○	要避難地域名	
	227		避難先地域		N	4000			0	1	○	避難先の地域名	
	228		住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要		N	4000			0	1			住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要内容(関係機関は、避難中の不測の事態発生の場合には、必要に応じ、速やかに、国民保護法等の関係法令に基づく緊急通報の発令、退避の指示等の所要の措置を行う必要がある。また、避難は関係機関と調整の上、攻撃の予防・鎮圧措置等も踏まえ、安全な経路・場所を選択する必要がある)
	229	発令・解除区分		X	2	○	発令・解除区分	1	1			避難勧告・指示情報の発令・解除の区分 (01:発令、02:解除)	
	230	発令理由		N	1000			0	1			避難勧告等を発令した際の理由(住民にとっての避難理由でもある)。 放送局等のメディアが必要としている情報であり、具体的な説明が求められる。発令地区ごとに内容が異なる場合は、発令地区との対応がわかるように記述。 【例】 ・〇〇川の水位がはん濫注意水位に到達し、堤防を越える恐れがあります。 ・〇〇川排水機場 ポンプ停止に伴い冠水面の上昇が懸念されます。 ・近隣の崖から湧き水が増え、かけ崩れの恐れがあります。 ・〇時〇分に〇〇市に大雨警報が発表されました。土砂災害の危険性が高くなることが予想されます。 ・△△地区で土砂災害の発生が確認され、土砂災害の危険性が極めて高まっています。 ・大津波警報が発表されました。	
	231	避難行動指針		N	1000			0	1			住民がとる避難行動への指針となる情報 発令地区ごとに内容が異なる場合は、発令地区との対応がわかるように記述。 【例】 ・〇〇地域の〇〇地区の方は、直ちに予め定めた避難行動をとってください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難して下さい。 ・自宅の2階や避難所など、安全に避難できる場所に避難してください。 ・現在、浸水により〇〇道は通行できない状況です。〇〇地区を避難中の方は大至急、最寄りの高層建物など、安全な場所に避難してください。 ・急斜面の付近や河川沿いにいる方は、急斜面や河川等から離れたなるべく頑強な建物等へ避難して下さい。 ・ただちに海岸や河川から離れ、できるだけ高い場所に避難してください。	
	232	備考		N	4000			0	1			備考欄として避難勧告・指示情報に関するその他情報を記入する	
07	233	避難所情報						1	1			避難所の運営状況に関する情報	
	234	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁)で管理する	
	235	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
	236	都道府県	○	N	12			1	1			避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称	
	237	市町村_災对本部名	○	N	12			1	1			避難所を運営する市町村もしくは災对本部の名称	
	238	避難所識別情報	○	X	20			1	1			避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当。	
	239	避難所名	○	N	30			1	1			避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCM2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当	
	240	避難所種別		X	2	○	避難所種別	1	1			避難所の種別 (01:避難所、02:臨時避難所、03:広域避難場所、開設措置なし、04:一時避難場所、開設措置) ※アラートへの配信の際は、最新のアラート仕様を確認の上、コード設定する等の対応が必要	

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有								
連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
	241	避難所指定区分		X	2	○	避難所指定区分	0	1			避難所の指定区分 (01:指定避難所、02:指定緊急避難場所兼避難所、03:指定緊急避難場所、04指定なし) ※Lアラートへの配信の際は、最新のLアラート仕様を確認の上、コード設定する等の対応が必要
	242	電話番号		X	30			0	1			避難所の電話番号
	243	FAX番号		X	30			0	1			避難所のFAX番号
	244	避難所の連絡先		N	1000			0	1			避難所の連絡先(電話、メール等)
	245	避難所住所		住所情報				0	1			避難所の住所
	246	緯度		9V	3.6			0	1			避難所の位置情報(緯度) ※世界測地系10進法で入力(例:34.768797)
	247	経度		9V	3.6			0	1			避難所の位置情報(経度) ※世界測地系10進法で入力(例:134.836031)
	248	管理者		職員名情報				0	1			避難所の管理者名
	249	収容人数		9	7			0	1			避難所の収容人数。減災情報共有スキーマでは「収容可能数」に相当
	250	報告日時	○	日付時間情報				1	1			避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	251	避難所状況確認日時		日付時間情報				0	1			避難所の状況を確認した日付・時間
	252	建物被害状況		N	4000			0	1			避難所建物の被害状況。
	253	電力被害状況		N	4000			0	1			避難所建物の電力使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(停電)」に相当。
	254	通信手段被害状況		N	4000			0	1			避難所建物の通信手段使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(電話不通)」に相当。
	255	その他の被害		N	4000			0	1			避難所建物のその他被害状況
	256	使用可否		X	1	○	可否	0	1			避難所の使用可否(避難所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
	257	開設の可否		X	1	○	可否	1	1			避難所の開設の可・不可。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖区分(コード)(情報項目識別子:03-04-05)、開設・閉鎖区分(文字)(情報項目識別子(03-04-06))」に相当。
	258	開設日時	○	日付時間情報				1	1			避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	259	閉鎖日時	○	日付時間情報				1	1			避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	260	避難者数		9	7			0	1			避難所への避難者数。減災情報共有スキーマでは「避難者総数」に相当。
	261	避難世帯数		9	7			0	1			避難所への避難世帯数

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大			
	262		負傷者数		9	7			0	1			負傷している住民数
	263		要援護者数						0	1			避難所へ避難した要援護者住民の数に関する情報
	264		要介護度3以上		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上の住民数
	265		一人暮らし高齢者_65歳以上		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者の住民数
	266		高齢者世帯_夫婦共に65歳以上		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)の住民数
	267		寝たきり高齢者		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者の住民数
	268		認知症高齢者		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者の住民数
	269		療育手帳A_A1_A2所持者		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持の住民数
	270		身体障がい者手帳1_2級所持者		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持の住民数
	271		備考		N	4000			0	1			備考欄として避難所情報に関連するその他情報を記入する
08	272	避難者情報							1	1			避難所へ避難している住民に関する情報
	273		災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	274		災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	275		氏名	○	氏名情報				1	1	○		避難者の氏名
	276		性別	○	X	1	○	性別	1	1			避難者の性別(男性、女性)
	277		年齢		9	3			0	1			避難者の年齢
	278		生年月日	○	生年月日情報				1	1			避難者の生年月日
	279		住所	○	住所情報				1	1	○		避難者の住所
	280		市外区分		X	1	○	市外区分	0	1			避難者が市内に居住(住民票)を設置しているか、市外に居住しているかを区分する
	281		避難先避難所名		N	30			0	1			避難者が避難した避難所名
	282		避難状況		X	1	○	避難区分	0	1			市民が避難所へ「避難済」「未避難」「避難所を既に退去済」
	283		避難理由		N	4000			0	1			避難した理由(自主避難、避難勧告に基づき避難、避難指示に基づき避難等)
	284		入所年月日			日時時間情報			0	1			避難所へ避難してきた日時
	285		退所年月日			日時時間情報			0	1			避難所を退去した日時
	286		退所先		N	100			0	1			避難所を退去した後、どこへ行ったか(自宅へ帰宅等)
	287		退所先電話番号		X	30			0	1			退去先の電話番号
	288		負傷		X	1	○	負傷	0	1			怪我の有無

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有								
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード	出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大		
	289		負傷内容		N	4000			0	1		怪我の内容
	290		アレルギー		X	1	○	アレルギー	0	1		アレルギーの有無
	291		アレルギー物質		N	4000			0	1		アレルギー物質名
	292		妊婦		X	1	○	妊婦区分	0	1		「妊娠中」「該当しない」かを選択する
	293		乳幼児		X	1	○	乳幼児区分	0	1		「1歳に満たない子供」「該当しない」かを選択する
	294		要援護者区分						0	1		要援護者区分「要介護度3以上」「一人暮らし高齢者 65歳以上」「高齢者夫妻 夫婦共に65歳以上」「寝たきり認知症高齢者」「療育手帳A、A1、A2所持者」「身体障がい者手帳1、2級所持者」
	295		要介護度3以上		X	2	○	要介護度	0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上に該当するか否か
	296		一人暮らし高齢者_65歳以上		X	1	○	一人暮らし高齢者_65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者に該当するか否か
	297		高齢者世帯_夫婦共に65歳以上		X	1	○	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)に該当するか否か
	298		寝たきり高齢者		X	1	○	寝たきり高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者に該当するか否か
	299		認知症高齢者		X	1	○	認知症高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者に該当するか否か
	300		療育手帳A_A1_A2所持者		X	2	○	療育手帳等級	0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持に該当するか否か
	301		身体障がい者手帳1_2級所持者		X	1	○	身体障がい者手帳1_2級所持者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持に該当するか否か
	302		備考		N	4000			0	1		備考欄として避難者情報に関連するその他情報を記入する
09	303	災害対応活動情報							1	1		災害対応活動に関する報告
	304		災害識別情報	○	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	305		災害名	○	N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	306		都道府県	○	N	12			1	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称
	307		市町村_消防本部名	○	N	12			1	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称
	308		報告日時	○	日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	309		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
	310		組織名		所属情報				0	1		報告元自治体内組織名称
	311		活動情報						1	1		災害対応活動に関する情報
	312		活動識別情報	○	X	20			1	1		活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+A+管理番号(5桁～)で管理する
	313		タイトル	○	N	50			1	1		活動内容が分かるタイトル
	314		活動開始日時		日付時間情報				1	1		災害対応活動を開始した日時

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO	NO	データ項目名		キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大			
	315		活動終了日時		日付時間情報				1	1			災害対応活動を終了した日時
	316		活動場所		N	100			1	1	○		災害対応活動の活動場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	317		活動内容		N	4000			1	1			災害対応活動の内容
	318		備考		N	4000			0	1			備考欄として災害対応活動情報に関連するその他情報を記入する
10	319	配備体制情報							1	1			地域防災計画に基づき、災害が発生し、または災害が発生する恐れがある場合において、防災活動を推進するために必要がある場合に、各団体にて定められている基準に基づき配備体制を敷く際の配備体制状況
	320		災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	321		災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	322		都道府県	○	N	12			1	1			配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称
	323		市町村_災对本部名	○	N	12			1	1			配備体制を発令した市町村もしくは災对本部の名称
	324		登録日時		日付時間情報				1	1			配備体制情報を登録した日時
	325		発令日時	○	日付時間情報				1	1			配備体制を発令した日時。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	326		解除日時		日付時間情報				0	1			配備体制を解除した日時
	327		配備体制名		N	30			1	1			配備体制名称。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「警戒態勢等種別(通常体制 警戒準備 警戒 警戒本部設置 災害対策本部)」に相当。
	328		備考		N	4000			0	1			備考欄として配備体制情報に関連するその他情報を記入する
11	329	通行規制情報							1	1			各種道路の規制状況に関する情報
	330		規制ID	○	X	20			1	1			規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+C+管理番号(5桁～)で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。
	331		管理者	○	X	2	○	管理者種別	1	1			道路の管理者(国、都道府県、市町村)
	332		管理団体名	○	N	30			1	1			道路を管理している団体名
	333		道路種別	○	X	2	○	道路種別	1	1			道路種別
	334		路線名	○	N	40			1	1			路線名称(ex 国道1号線)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
	335		登録日時	○	日付時間情報				1	1			登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	336		通行規制災害種別	○	X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別	1	1			通行規制情報の災害種別
	337		緊急輸送路の指定		X	1	○	緊急輸送路指定	1	1			緊急輸送路指定の有無
	338		規制開始位置		N	100			1	1			通行規制の開始場所
	339		規制終了位置		N	100			1	1			通行規制の終了場所

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有						
NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード	出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
連番	NO				CD	コード名	最小	最大		
	340		規制発生日時				1	1		通行規制が発生した日時。減災情報共有スキーマでは「規制開始時刻」に相当。
	341		規制解除日時				1	1		通行規制を解除した日時。減災情報共有スキーマでは「規制終了時刻」に相当。
	342		時間帯規制種別				0	1		規制時間帯に関する情報
	343		規制種別	X	1	○	時間帯規制種別	0	1	規制の種類
	344		時間帯規制開始時刻				0	1		時間帯規制の場合の開始時刻
	345		時間帯規制終了時刻				0	1		時間帯規制の場合の終了時刻
	346		規制原因内容	N	4000		0	1		通行規制の原因や内容(全面規制、交互規制、片側規制等)。減災情報共有スキーマでは「規制区分」と「規制理由」に相当。
	347		迂回路有無	X	1	○	迂回路	1	1	迂回路が有るのか、迂回路が無いのか
	348		迂回方法	N	4000		0	1		具体的な迂回方法
	349		復旧見込み日時				1	1		復旧の見込みの日時
	350		備考	N	4000		0	1		備考欄として通行規制情報に関連するその他情報を記入する
12	351	水防活動情報					1	1		洪水や高潮等の恐れがある時にその現場へ出動し、氾濫等による被害拡大を防止するために対応/処置する水防活動に関する活動報告
	352		災害識別情報	○	X	20	1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	353		災害名	○	N	40	1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	354		水防活動識別情報	○	X	20	1	1		水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+S+管理番号(5桁～)で管理する
	355		管理団体名	○	N	30	1	1		当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
	356		報告年月日	○	日付情報		1	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	357		報告者名		職員名情報		0	1		報告を実施した職員の氏名
	358		河川名	○	N	12	1	1		水防活動を実施する河川の名称
	359		場所		N	100	1	1	○	出水の概況説明。記入例としては○○川(左、右)○○地先○○m。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	360		日時				1	1		活動を実施した日時
	361		自		日付時間情報		1	1		開始日時
	362		至		日付時間情報		1	1		終了日時
	363		出動人員数				0	1		出動人員数
	364		水防団員		9	7	0	1		出動している水防団員の数(人)
	365		消防団員		9	7	0	1		出動している消防団員の数(人)

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大			
	366	水防作業の概況及び工法	その他		9	7			0	1			出勤しているその他の人員の数(人)
	367		出勤人員数_計		9	8			0	1			出勤人員の合計(人)
	368								1	1			水防作業の概況及び工法について
	369		工法		N	4000			1	1			実施工法名
	370		箇所		N	4000			1	1			作業箇所
	371		m		9V				1	1			範囲(m)。データ型は“float”となっており、“float”の場合、桁数制約のmaxLengthやtotalDigitsが指定できないため、桁数の定義が出来ないため、出現回数については制約を設けていません
	372		備考		N	4000			0	1			備考欄として水防活動情報に関連するその他情報を記入する
13	373	自治体基礎情報							1	1			災害対応時に使用する可能性が高い公共施設の情報
	374	都道府県		○	N	12			1	1			該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称
	375	市町村_消防本部名		○	N	12			1	1			該当する基礎情報を管理している市町村の名称
	376	公共施設情報							0	N			自治体が有する公共施設に関する情報
	377	公共施設名			N	30			0	1			公共施設名称
	378	公共施設_住所			住所情報				0	1	○		公共施設の住所
	379	重要施設情報							0	N			自治体の管内にある重要施設に関する情報
	380	重要施設名			N	30			0	1			重要施設の名称
	381	重要施設種別			X	2	○	重要施設	0	1			災害時の重要施設の施設種別
	382	重要施設_住所			住所情報				0	1			重要施設の住所
	383	医療施設情報							0	N			自治体の管内にある医療施設に関する情報
	384	医療施設名			N	30			0	1	○		医療施設の名称
	385	医療施設_住所			住所情報				0	1	○		病院の住所
	386	医療施設_連絡先			X	30			0	1			病院の連絡先
	387	備考			N	4000			0	1			備考欄として自治体基礎情報に関連するその他情報を記入する
14	388	物資_資機材備蓄情報							1	1			平常時より管理・備蓄している物資数、資機材数に関する情報
	389	災害識別情報		○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁~)で管理する
	390	災害名		○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	391	都道府県		○	N	12			1	1			物資・資機材を管理・備蓄している市町村が属する都道府県の名称
	392	市町村_災对本部名		○	N	12			1	1			物資・資機材を管理・備蓄している市町村もしくは災对本部の名称

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大				
	393	登録日時	○	日付時間情報				1	1			情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、「入力した「時間」がピンポイントで合わない」とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる。	
	394	備蓄施設情報						1	N			資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称	
	395		備蓄施設識別情報	○	X	20			1	1			避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+M+管理番号(5桁)で管理する。
	396		備蓄施設名	○	N	30			1	1			備蓄している物資の名称
	397		保有車両		9	7			0	1			団体が保有している車両数
	398		船艇		9	7			0	1			船艇数
	399		ヘリコプター		9	7			0	1			ヘリコプター数
	400		土嚢袋		9	7			0	1			土嚢袋数
	401		ビニールシート		9	7			0	1			ビニールシート数
	402		テント		9	7			0	1			テントの数
	403		更衣室_授乳室		9	7			0	1			更衣室や授乳室の数
	404		車椅子		9	7			0	1			車椅子の数
	405		なわ		9	7			0	1			なわの数
	406		針金		9	7			0	1			針金の数
	407		スコップ		9	7			0	1			スコップの数
	408		くい		9	7			0	1			くいの数
	409		のこぎり		9	7			0	1			のこぎりの数
	410		おの		9	7			0	1			おのの数
	411		ハンマー		9	7			0	1			ハンマーの数
	412		かま		9	7			0	1			かまの数
	413	なた		9	7			0	1			なたの数	
	414	じょれん		9	7			0	1			じょれんの数	
	415	つるはし		9	7			0	1			つるはしの数	
	416	杉丸太		9	7			0	1			杉丸太の数	
	417	釘		9	7			0	1			釘の数	
	418	かけや		9	7			0	1			かけやの数	
	419	小車		9	7			0	1			小車の数	

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
	420				9	7			0	1		ベンチの数
	421				9	7			0	1		金槌の数
	422				9	7			0	1		ウインチの数
	423				9	7			0	1		かすがいの数
	424				9	7			0	1		バケツの数
	425				9	7			0	1		救命ブイの数
	426				9	7			0	1		救命ボートの数
	427				9	7			0	1		ロープの数
	428				9	7			0	1		懐中電灯の数
	429				9	7			0	1		救助用照明具の数
	430				9	7			0	1		発電機の数
	431				9	7			0	1		ガソリン携行缶の数
	432				9	7			0	1		無線機の数
	433				9	7			0	1		ラジオの数
	434				9	7			0	1		簡易救助器具の数
	435				9	7			0	1		拡声器の数
	436				9	7			0	1		間仕切りの数
	437				9	7			0	1		コンクリートパネルの数
	438				9	7			0	1		仮設トイレや簡易トイレの数
	439				9	7			0	1		断熱シートの数
	440				9	7			0	1		アルファ米の数
	441				9	7			0	1		かんぱんの数
	442				9	7			0	1		クラッカーの数
	443				9	7			0	1		保存飲料水の数
	444				9	7			0	1		毛布の枚数
	445				9	7			0	1		エマージェンシーブランケットの数
	446				9	7			0	1		オールウェザーブランケットの数

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有										
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明	
連番	NO						CD	コード名	最小	最大				
	447			ミルク	9	7			0	1			ミルクの数	
	448			哺乳瓶	9	7				0	1			哺乳瓶の数
	449			離乳食	9	7				0	1			離乳食の数
	450			やかん	9	7				0	1			やかんの数
	451			カセットコンロ	9	7				0	1			カセットコンロの数
	452			おむつ 大人用	9	7				0	1			大人用のおむつの数
	453			おむつ 子供用	9	7				0	1			子供用のおむつの数
	454			生理用品	9	7				0	1			生理用品の数
	455			医療資機材	9	7				0	1			医療資機材の数
	456			備考		N	4000				0	1		
15	457	道路被害情報							1	1			道路に関する被害情報	
	458	災害識別情報		○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
	459	災害名		○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを旨とする	
	460	管理者		○	X	2	○	管理者種別	1	1			道路の管理者(国、都道府県、市町村等)	
	461	管理団体名		○	N	30			1	1			道路を管理している団体名	
	462	道路種別		○	X	2	○	道路種別	1	1			道路の種別(地方道、高速道等)	
	463	路線名		○	N	30			1	1			路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。	
	464	報告日時		○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
	465	報告者名			職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名	
	466	道路被害識別情報		○	X	20			1	1			道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+R+管理番号(5桁～)で管理する	
	467	被害区分			X	2	○	その他被害区分	1	1			被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。	
	468	発生場所			N	100			1	1	○		被害が発生した場所。TVCM2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生場所(情報項目識別子:03-04-01-03)」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない。減災情報共有スキーマでは「被害箇所住所」に相当。	
	469	対応状況			N	4000			0	1			被害に対する対応状況	
	470	緊急輸送路の指定			X	1	○	緊急輸送路指定	0	1			緊急輸送路指定の有無	
	471	復旧見込み日時			日付時間情報				0	1			復旧の見込みの日時。TVCM2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生・復旧日時(情報項目識別子:03-04-01-05)」に相当。	
	472	備考			N	4000			0	1			備考欄として道路被害情報に関連するその他情報を記入する	

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有								
連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
16	473	橋梁被害情報						1	1			橋梁に関する被害情報
	474	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	475	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	476	管理者	○	X	2	○	管理者種別	1	1			橋梁の管理者
	477	管理団体名	○	N	30			1	1			橋梁を管理している団体名
	478	橋梁名	○	N	30			1	1			橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当
	479	報告日時	○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないでデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	480	報告者名		職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名
	481	橋梁被害識別情報	○	X	20			1	1			橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+B+管理番号(5桁～)で管理する
	482	被害区分		X	2	○	その他被害区分	1	1			被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
	483	発生場所		N	100			1	1	○		被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	484	対応状況		N	4000			0	1			被害に対する対応状況
	485	復旧見込み日時		日付時間情報				0	1			復旧の見込みの日時
486	備考		N	4000			0	1			備考欄として橋梁被害情報に関連するその他情報を記入する	
17	487	映像情報						1	1			各団体における定点カメラ映像や公共施設管理のカメラ映像に関する情報
	488	管理者	○	X	2	○	管理者種別	1	1			映像情報を管理・配信している団体種別(国、都道府県、市町村、その他)
	489	管理団体名	○	N	30			1	1			映像情報を管理・配信している団体名称
	490	映像提供元URL		X	4000			1	1			被害映像情報を提供先のURL
	491	備考		N	4000			0	1			備考欄として映像情報に関連するその他情報を記入する
18	492	避難場所情報						1	1			避難場所に関する情報
	493	都道府県	○	N	12			1	1			避難場所を運営する市町村が属する都道府県の名称
	494	市町村_災对本部名	○	N	12			1	1			避難場所を運営する市町村もしくは災对本部の名称
	495	避難場所名	○	N	30			1	1			避難場所の名称
	496	電話番号		X	30			0	1			避難場所の電話番号
	497	FAX番号		X	30			0	1			避難場所のFAX番号
	498	管理者		職員名情報				0	1			避難場所の管理者名

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有									
NO	データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大	使用		
	499		収容人数		9	7			0	1			避難場所の収容者人数
	500		使用可否		X	1	○	可否	0	1			避難場所の使用可否(避難場所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
	501		備考		N	4000			0	1			備考欄として避難場所情報に関連するその他情報を記入する

項目セット辞書指定時は属性・桁数省略  
出現回数・外字・サンプル値・項目説明は必要